

高速道路リニューアルプロジェクトとは

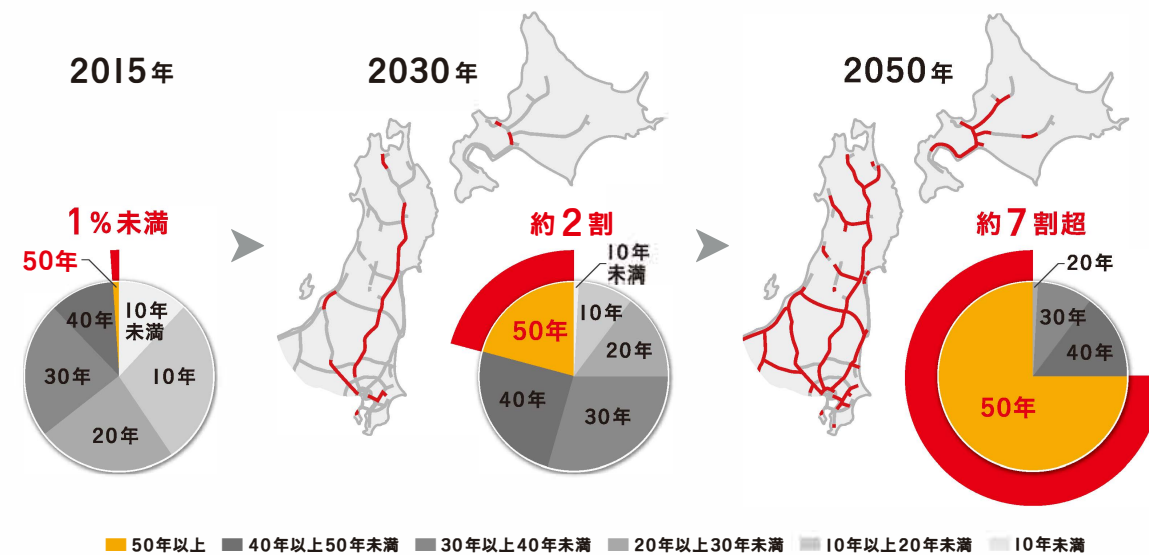
老朽化や大型車両の増加等により傷んだ高速道路において、橋を架け替えるなど抜本的に補修することです。通常の工事に比べると長期間の通行規制が発生しますが、建設当時と比べて最新の技術で施工するため、機能が向上し、長寿命化が図れます。

Q. 老朽化した高速道路は、どれくらいあるのですか？

現時点では開通から50年を超える道路はほとんどありませんが、2030年にはその割合は2割に達し、2050年には7割を超えることが予想されています。

高速道路の経過年数の推移

NEXCO東日本管内の高速道路の経過年数



Q. 老朽化を進行させる原因はなんですか？

主な原因として、次のようなものがあげられます。

大型車交通・車両総重量の増加



重量超過車両の通行



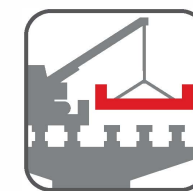
凍結防止剤の散布



Q. なぜ高速道路リニューアルプロジェクトが必要なのですか？

経過年数に加え、厳しい使用環境により、老朽化が進行しています。経済・社会・医療・防災など社会基盤を支える大動脈としての役割をこれからも果たすために、これまでの部分的な補修の繰り返しでは改善できないため、抜本的な補修が必要です。

『大規模更新』は、このような工事を行います。



床版※の取替

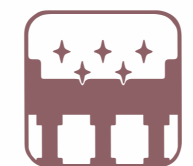
耐久性の高い
コンクリート床版へ
取り替えます。

床版取替工事の実例



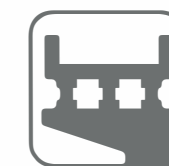
※床版とは、橋梁を通行する自動車等を直接支え、その荷重を桁へ伝達させる構造部材のことです。

『大規模修繕』は、このような工事を行います。



床版防水層の施工

コンクリート床版の劣化を
防止するため、防水層に
高性能な床版防水を施工します。



桁の補強

耐久性を高めるために、
桁に補強部材を
取り付けます。

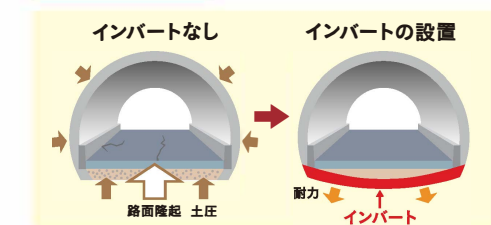


インバート※設置

トンネル周辺から過度な力が
かかっているトンネルに対して、
より強い構造にするため、インバートを
設置し、安定性を向上させます。

※インバートとは、路面の下部に半円形のコンクリートを設置し、トンネル形状を円形にすることで、変形を防止するものです。

対策工事イメージ



グラウンドアンカー※の施工

切土のり面の長期安定性を
確保するために、防食性能が高い
グラウンドアンカーを施工します。

※グラウンドアンカーとは、切土のり面が変形しようとする力を、高強度の鋼棒等を打ち込むことで安定させるものです。

対策工事イメージ グラウンドアンカーの増打ち

